

# ワンポイント 家庭菜園



## タマネギの 育て方



分球を起こしやすく、遅まきは小苗になり、越冬率が低く収量が低下します。

### (2) 播種と育苗

畝幅1m、条間8~10cmの5条まきとし、深さ6~8mmの溝をつくり、1~2cm間隔で種をまき、覆土します。

育苗日数は、55~60日を目安とし、苗は草丈25~30cm、葉鞘の直径が5~7mm、重さ4~5g、葉数3~4枚のものが望ましいです。

1回目	11月下旬 (化成肥料30g/m <sup>2</sup> )
2回目	2月中旬 (50g程度/m <sup>2</sup> )
3回目	3月中旬 (80g程度/m <sup>2</sup> )

### (5) 追肥

定植時期は10月下旬から11月上旬です。苗は大きさを揃え、植え付け後はかん水し、活着を促進させましょう。

茎葉が70~80%倒伏した頃、晴天の日に収穫します。収穫後は、1~2日天日干しの後、雨の当たらないところで吊り貯蔵やコンテナ貯蔵します。
収穫時期は6月上旬ごろからです。早どりは水分が多く腐敗しやすくなるので注意しましょう。

### (6) 収穫



定植は、畝幅120cm、条間20cm、株間12~15cm、4条植えとし、2~3cmの深さで植え付けます。

タマネギはユリ科の野菜で、原産地は地中海沿岸や中央アジアです。発芽適温は15~20℃、生育適温は15~23℃で、pH 6.0~6.5の砂壌土を好みます。

### (1) 播種準備

苗を購入した場合は(4)から

苗床は、播種2週間前までに、1m当たり苦土石灰100gを散布し、耕します。1週間前に、堆肥3kg、1m当たり化成肥料(8-8-8)100g程度施用し、深く耕し、表面は平らにならしておきます。

### (4) 定植準備と定植

定植2週間前までに、1m当たり苦土石灰100~150gを散布し、耕します。1週間に、堆肥2kg、化成肥料120g、熔成りん肥50g程度施用し、耕します。丁寧に碎土して土を膨軟にします。



### (3) 間引きと追肥

本葉2枚の頃、株間2~3cmにそろえます。発芽後、20日頃を目安に500倍の液肥か化成肥料を1m当たり30g追肥します。

茎葉が70~80%倒伏した頃、晴天の日に収穫します。収穫後は、1~2日天日干しの後、雨の当たらないところで吊り貯蔵やコンテナ貯蔵します。



収穫時期は6月上旬ごろからです。早どりは水分が多く腐敗しやすくなるので注意しましょう。

(文責 金沢農業大学校長 大藏 捷直)

## 第17期 金沢農業大学校研修生募集

野菜作りを学び農業経営をはじめたいという方を募集します。  
研修修了後は営農計画に応じた就農支援制度があります。

申込締切 令和3年11月19日(金)※必着

募集人数 15名程度

対象 令和4年2月1日現在で18歳以上65歳以下の研修修了後に金沢市内で就農可能な方

研修期間 2年間(令和4年2月~6年1月)  
週2回 各3時間程度

受講料 無料(教材費等一部実費負担有り)

申込先 金沢市農業センター

〒920-0371 金沢市下安原東1471

TEL(076)249-2744

詳細は、金沢市農業センターまで

